



申13号

2021年度夏季手当等に関する申し入れ

第2回団体交渉を行う②

【これが私たちの声だ!!】

生活実感

- 会社は持ち家制度を推奨している一方で、社宅入居者は退去期限が迫っている中、現状の収入状況を踏まえると二の足を踏む状況となっていることを理解すべきだ!
- 住宅ローンの支払いに貯金を切り崩しているため、貯金もできない。
- 家族との外食や旅行を減らしている。
- 奨学金の支払いがあるため、月々の給料は食費にしか使っていない。やりがいだけでは生きていけない。夢を持って入社したのに残念だ。
- 年収をベースにしてローンを組んでいる実態だ。ボーナス払いの比率も高く、手当がなければ支払えない現実だ。貯蓄を切り崩すか払えなければ住宅を手放さなければならない。
- 子どもの塾や習い事も手当から充当している。
- 昨年は旅費の制度改正に伴う精算分と、国からの10万円があったから何とかだったが、今年はすでに家庭内キャッシュフローは赤字だ!
- 持ち家推奨があるので、社宅から出たばかりだが、家財を買うにもお金が要る。夏季手当が出ないと新居を出ることも考えている。
- エルダーの制度改正はあったが、公的な仕組みを活用できない現状。60歳を超えたから生活が変わるわけではない!

組合が行ったアンケート
夏季手当の使い道

- 1位 **生活費**(70.6%)
- 2位 貯蓄(50%)
- 3位 ローンの支払い
(47.1%)

会社:貴側の主張や社員の声については承知している。
ライフスタイルについては個別の事案で一概には述べられない。

一辺倒な回答ではなく夏季手当が生活給になっている現実に応えるべきだ!

労働実感

- 人件費削減を理由にこれ以上の減額は受け入れられない! 足元の状況は分かるが、黒字を目指している。モチベーションを上げるためにも、変革2027実現のために満額で応えるべきだ!
- 工務職場では、コピー用紙の使用枚数について、月ごとにどれだけ抑えられたか職場ごとに順位付けされ、コピー用紙1枚でも気を使いながら業務している。
- 除草作業等、直轄でできるものは直轄で行う計画もして、黒字化を実現するため努力している。
- 検修職場では、日々のコストダウンに加え、例えば、一部車両清掃を外注化せずに社員が行っている現実や、不要金属の売却、配送料の削減などやっている。
- 食事は駅ナカ、Suica決済、JREPOINTの登録、NewDaysを活用など、身近な所から収益に繋げる努力をしている。
- これまで以上に問題意識を持ち職場からさらなるコスト削減・黒字化に向けた努力を行ってきている。これ以上の人件費の削減は許さない! という強い不満の声が上がっている!
- オリパラの開催実現に向けて、お客さまと接する職場では、一言英会話学習を勉強会や訓練で行い、肉声の英語放送を行っている。
- オリパラ成功に向けて駅サポーターに応募している組合員が準備をしているのとあわせて、職場では新入社員をオリパラ前までに一人立ちさせるために教育を行っている。
- 新しいシステムの導入やコストダウンなど、職場の基本的な業務量が増えているにも関わらず、新人育成や社内インターンへの教育、現場発意のフォローなど業務が増えている。

コスト削減・施策対応には感謝します。

国鉄時代は1兆3000億円の赤字でも定期昇給はカットされなかった。定期昇給2になったことで、基本給の上昇が抑制され夏季手当にも影響を与えている。その声に答えるためにも満額回答すべきだ!